常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和3年2月16日
鹿児島市立伊敷中学校

校庭巡視雑感

校長　河瀬　雅之

透き通る青空に誘われ、校庭を歩いて回ると、寒暖交互に訪れる季節の変わり目は、**春待つ植物にも変化**をもたらしていた。木へんに春と書き「つばき」と読む。春を告げるという花の蕾は膨らみ、一部開花している。立ち枯れの古木と思っていた木の切り株からは小枝が芽吹き、そこに咲いた花からそれは梅の木だった事が分かる。**しばしば植物の生命力には驚かされる。**

一方年末には赤い実を鈴なりにまとっていたクロガネモチも、冬場の貴重な食料を求める野鳥の仕業か、いつの間にか丸裸にされている。

次に本校の３か所の門に設置された掲示黒板に目を向けると、そこには、月替わりの生徒向けメッセージが記されていた。

【西門】
「あきらめない、どんな時も、君ならできるんだ、どんな時も」
サンボマスター「できっこないをやらなくちゃ」の歌詞から

【正門】
「あきらめないことだ。一度あきらめると、習慣になる。」
精神科医　斎藤茂太の言葉から

【東門】
「努力すれば報われる？そうじゃないだろ！報われるまで努力するんだ。」
サッカー　メッシの言葉から

いずれも、生徒会のメンバーが、今の生徒の実態を捉えながら、一生懸命考えてくれたメッセージなのだと思う。

その内の２つに「あきらめない」という言葉が示されていたのは興味深い。コロナ禍で**何もかも、あきらめムードがはびこる中、生徒が自らを鼓舞する言葉として頼もしく感じた。**

バスケットボールを題材にした漫画「スラムダンク」で顧問を務める安西先生の言葉に「**あきらめたら、そこで試合終了です。**」という有名な台詞がある。

「あきらめない」ということは「前に進むのをやめない」ということ。言い換えれば「歩き続ける」ということ。その大切さを教える言葉ではないだろうか。

また、仏教学者の鈴木大拙は、**「一歩一歩上がれば何でもない、一歩一歩努力すれば、いつの間にか高いところでも上がっている。」**と述べている。要するにもう駄目だと思ったときにそこであきらめるのか、あきらめずに続けられるのかは気持ちの持ちよう、**自分自身の考え方一つで変わるもの**だということだろう。

見回りを続けていると、見えないところで校庭整備や部の倉庫を黙々と整理されている先生方の姿も。家庭では保護者の方々に支えられ、学校では先生方の愛情に見守られながら、三年生は本校を巣立つ準備をしている。

三年校舎裏のビニールハウスには、学校主事の小門さんが丹精を込めて育てたサクラソウが卒業式の出番を待ちながら、日に日に賑やかさを増してきている。

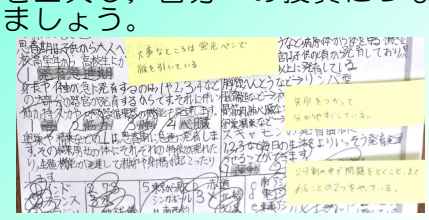
卒業式まであとひと月
出番を待つサクラソウ

浪費？投資？

本校舎１回廊下に，１年生学習班による宅習展が掲示されています。これは生徒全員が充実した家庭学習ができるよう，内容が充実しているノートを展示し，参考にするためものです。

ただの紹介ではなく，どこが良いのか，そのポイントを付箋で示す工夫がされています。

宅習は毎日１ページすることになっています。ただ提出するための宅習は，時間の浪費に過ぎません。自分にとって本当に必要な宅習を工夫し，自分への投資につなげましょう。



情報モラル講演会

２日(水)，３年生を対象に情報モラル講演会を実施しました。本来であれば，講師の方を学校にお招きし講演していただく予定でしたが，新型コロナウイルス感染防止対策ため，福岡からリモートによる講演会となりました。

講演内容はＳＮＳに関して，

- 個人情報をのせることでトラブルが多い。
- ＳＮＳでつながった見ず知らずの相手と安易につながらない，会わない。
- ネットのつながった先の状況への想像力が大切である。

といった内容でした。

今回の講演を通して，携帯電話やインターネットの現状や危険性を理解し，ネット上で情報を扱うルール再上でのマナーを確認できたと思います。

鹿児島学習定着度調査結果速報

去る１月13日，14日の両日，全県下の小5，中1，中２の全児童生徒を対象とする，鹿児島学習定着度調査が実施されました。この調査は，１年間の学びの定着度を確認し，生徒個々の学びや，指導法の改善に生かすために，毎年実施されているものです。その結果は，速報値ではありますが下の表のとおりでした。

		国	社	数	理	英
1年	県	78.7	64.4	74.9	70.4	68.1
	本校	77.7	65.0	77.9	70.5	75.4
	差	-1.0	+0.6	+3.0	+0.1	+7.3
2年	県	76.7	67.7	67.1	70.9	57.8
	本校	77.8	71.8	73.8	75.5	60.0
	差	+1.1	+4.1	+6.7	+4.6	+2.2

※ 数値は平均通過率を表している。(1月31日現在)

県と比較しますと，本校は，ほとんどの調査で，平均を上回っており，昨年までの結果と比べても改善傾向にはありますが，市と比較しますと１年生の国語，社会，理科においてわずかながら，平均を下回っていました。

本校の生徒は，人前で自分の考えを堂々と述べる力や，積極的に発表する力，決まりを守る力，他を思いやる優しさなど，世の中で必要とされる資質は確実に育っていると実感しています。

一方，今回の調査結果のように，ペーパーで測れる学力についてはまだまだ課題があると捉えています。

以下今回，特に通過率が低かった問題の中で各教科に共通する傾向についてまとめましたので，家庭学習の参考にしてください。

① **与えられた語句を用いて説明したり，自分の考えをまとめ記述する力が弱い**
- 長い文章を要点を押さえながら簡潔にまとめる練習をしてみましょう。（新聞のコラム欄の要約なども効果的です。）

② **基本的な事項の確認とおさえが不十分である**
- 教科書の太字の部分を抜き出し，その意味を専用のノートにまとめるなどして確実に押さえてみましょう。

３月　主な行事予定

９日（火）	実力テスト１･２年
１０日（水）	実力テスト１･２年
１１日（木）	クラスマッチ３年
１６日（火）	第74回 卒業式
１８日（木）	クラスマッチ１年
	１年食に感謝する日
１９日（金）	クラスマッチ２年
	２年食に感謝する日
２５日（木）	修了式　大掃除
２６日（金）	辞任式

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をします。

志を立てる

13日（土），新型コロナウイルス感染防止対策のもと工夫を行い立志式を実施しました。式の中では，一人一人が，世のため人のためになるための手段の一つである将来の夢（職業）を力強く掲げました。

記念公演では，元Ｊリーガーの田上裕さんが，演題「何事も気持ち次第」とし，ご自分の経験を通しながら，夢を叶えるためには，挑戦することや周りの人へ感謝することが大切であるということを語ってくださいました。

立志式や記念公演は，「これから最上級生としてすべての活動をリードしていく自覚」，「日々努力を重ねること，継続することの大切さへの気づき」，「将来の生き方について考え行動する覚悟」などいい機会となりました。